まこと

Volume 61 No.9
SEPTEMBER 2014

天理教バザー・メインテント内の様子（8/24）

Tenrikyo Mission Headquarters of Hawaii

ハワイ伝道庁60年小史

神殿修築と創立40周年記念祭

教祖100年祭の年、1986年6月に永尾一夫・本部准員が五代庁長に任命された。永尾庁長は、94年に迎える創立40周年を目指し、道の理に結ばれたお互いが一手一つに進ませていただく中、40周年が意義ある旬となるようご守護頂きたいと、91年に神殿の修築、多目的室と教職舎の増築を計画した。教職舎は92年９月に竣工。神床、上段礼拝場の修築は、92年９月28日夜、お目標様を新教職舎に遷座し、10月１日から旧お社を撤去した。神床、上段の解体は主としてカワイ、マウイ教会の信者のひのきしんで敏速に行われた。神床上段の檜の用材は日本から取り寄せ、造営には松波木材工業株式会社の建築技師４名、お社制作会社「宮忠」から２名が来庁、11月末、総檜造りの輝くばかりの神床上段は完工した。婦人会員は檜の用材磨き、ひのきしんの人たちへの世話どり、青年会員は力仕事のひのきしんに伏せ込んだ。1993年１月15日夜、飯降政彦・海外部長祭主で鎮座祭、翌16日に永尾庁長の祭主のもと修築落成奉告祭を執行した。

創立40周年記念祭は、翌年1994年５月14日、中山善衞真柱様のご臨席のもと執行された。真柱様はご講話で教祖110年祭を迎えるについて「教祖の年祭をつとめさせて頂くには、一手一つに心を揃えてかかることが重要である。教会長、役員、よふぼく、信者がそれぞれ責任を持って、自分がいなければ道の御用は進んでいかないんだ、という誇りと自覚を持ってかかって頂きたい。40周年を迎えられた機会に、心新たに先輩の意志を継いで、ハワイの道の上に一手一つに心を揃えておつとめくださいますことを心よりお願いし、ハワイの道の更なる発展をお祈り申し上げます」と講話された。

神床正面の檜の丸柱を磨く婦人会員

神床・上段の造営ひのきしんに参加した人たち

８月月次祭祭文

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前にハワイ伝道庁長山中修吾慎んで申し上げます。

親神様には教祖をやしろに、この世の表にお現れ下されて以来、元初まりの真実を明かし、ひながたを示して、陽気ぐらしへの歩み方をお教え下さいました。さらに自由のお働きをもって人々の心の埃を払い、旬々のお仕込みにより成人の道へとお導き下さいます御守護の程はまことに有難く、日々御礼申し上げつつ、世界たすけの御用に励ませていただいております。その中に本日は当伝道庁の８月月次祭の日柄を迎えましたので、只今よりおつとめ奉仕者一同心を合わせ座りづとめ・てをどりを陽気に勇んでつとめさせていただきます。御前には今日一日を楽しみに参り集いました道の兄弟姉妹が、みかぐらうたを唱和し祈念する状をもご覧下さいまして、親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

この夏もおぢばは、大勢の若者たち子供たちで賑わいましたが、ハワイ管内からも、おやさとセミナー受講生、こどもおぢばがえり団体、少年ひのきしん隊と、ハワイの道の将来を担う者達が、厳しい暑さの中、一同結構にお連れ通りいただきました。ぢばの理を肌で感じ、ご存命の教祖の親心に直に触れ、御教えを学び、尊き汗を流して伏せ込みに励み、感謝と喜びの心を深めてハワイに戻らせていただきました。誠にありがとうございます。

今月24日には、恒例の天理教バザーを開催させていただきます。管内の教友、関係者が一手一つに力を合わせて、この一大行事を成功させ、バザーを通して地域の方々へのにをいがけも進めさせていただきたいと存じます。さらにはまた、来月初めに実施予定の全教一斉にをいがけデーに向けて、日々にをいがけ・おたすけの意識を持って、周囲に心を配り、一人でも多くの方々に御教えを伝えさせていただきたいと存じます。

私どもよふぼくは、世界中の人間を一人余さずたすけたいとお急き込みくださる親神様のお心に添わせていただき、教祖の道具衆として神一条、たすけ一条の道をハワイのこの地でしっかりと歩ませていただきます。殊に、教祖百三十年祭「三年千日」年祭活動の後半に入ったこの旬に、銘々が仕切って成人への努力を日々積み重ね続けさせていただきます。何卒親神様には私共のこの真心をお受け取り下さり、ハワイの道が伸展し、世界中の人々が互いにたすけ合い睦み合う陽気ぐらしの世の状へと一日も早く立て替わりますようお導きのほどを、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

祭典役割

祭　主	山中修吾庁長	
扈　者	一瀬常徳	宮内泰次
賛　者	井上タイロン	美馬ブレイン
指図方	西村忠正	
講話者	稲福道興	（日）
通訳者	中尾モーゼス	（英）

	座りづとめ	前半	後半
てをどり	庁　長	M.久尾	D.明本
(男性)	Y.中尾	Y.宮内	S.社本
	C.三國	W.三國	B.岩田
てをどり	庁長夫人	M.岩田	S.中尾
(女性)	M.柿谷	K.齋藤	Y.一瀬
	M.三國	T.中尾	R.宮内
笛	T.美馬	D.桧垣	H.山本
チャンポン	G.本田	W.城	M.中尾
拍子木	R.山	D.川崎	G.井元
太鼓	M.岩田	E.高田	K.川崎
すりがね	M.社本	S.中尾	D.鈴木
小鼓	T.一瀬	M.稲福	S.泉
琴	T.松川	L.川崎	L.金城
三味線	C.明本	L.蘇	A.綾川
胡弓	J.山	C.浜田	L.井上
地方	T.西村	O.中尾	T.岩田
	C.齋藤	T.井上	J.蘇

8月月次祭祭典講話

かりゆし布教所長　稲福道興

ただ今の旬と申しますのは、教祖130年祭に向かう三年千日をちょうど折り返したところでありまして、改めて年祭の意義を思い返し、残りの500数十日を益々喜び勇んで御用をつとめさせていただきたいと存じます。

月日のやしろにお成りになられた教祖は、その後30年間は、いかにすれば親神様の教えを当時の人々に解ってもらえるか、そのための大変な苦心をされておられるのであります。

「貧に落ちきらねば、貧で苦しんでいる者の心が解らん」と仰せられて、自らの嫁入りの道具や着物をはじめとし、あらゆる物や金を貧で苦しんでいる人々に施されたのでありました。

さらに教祖は、貧で苦しんでいる中でも、「水を飲めば水の味がする」と健康な身体を貸していただいていることを自覚させていただく中に、喜びを見出すことができるという、今までにない新しい幸福の価値観を「かしもの・かりもの」の理でお教えくだされたのであります。

しかし、常識はずれの異常な施しの行為は、親戚、友人、知人、隣人といった周りの人たちから理解されることはありませんでした。そればかりか、教祖を気狂い扱いする始末でありました。やがて教祖は、気が狂ったのでもないその証拠として「お針子」をお取りになり、長男秀司先生に命じ「寺子屋」をお始めになられたのもその頃でありました。いかに親神様の思召とはいえ、新しい陽気ぐらし世界建設に向かう新しい価値観の樹立、そしてその定着には並大抵なお骨折りではなかったのであります。

月日のやしろになられて、20年も経った頃から、教祖は安産のおたすけをお始めになられ、その評判は大和一帯に急速に広まって参りました。この産屋だすけから次第にいかなる病をもたすけてくださるという生神様が庄屋敷村にあられると噂が噂を呼び、大勢の人々が教祖のもとにおたすけを乞われるようになったのです。おたすけを頂いた人々の中から、ようやくお礼の信心をする方が教祖のもとに現れて参りました。その方々が後々の高弟の先生方となっておられます。その高弟の方々に教祖は、数々の節を通して心の成人を促され、数々のさづけをお渡しになられ、固い信仰が継続するよう応援なされるのでありました。

立教後30年も経った頃から、心の成人をされ、教祖の思いのかかった高弟の先生方に、おつとめの地歌と手振り、さらには鳴物も自らして見せて、教えられたのです。

続いて、後々本席となられる飯降伊蔵先生に、ひながたかんろだい作りをお命じになり、かんろだいづとめが執り行われる「ぢば定め」もなされ、やがて迫り来る「扉開いて」の重大な旬に向けての世界だすけの手立ては着々と進んで参るのであります。

教祖の教えを忘れてはならないからとの親心から「おふでさき」をご執筆になられ、教祖に代わって「おさしづ」を下さる本席をお定めになられたのもこの頃であります。

ついに教祖は、現身をお隠しになられる10年前頃から「真柱」を定められ、高弟の先生方への最後のお仕込みが行われます。教祖の御身を案じて、他宗教の認可を願おうとする高弟の先生方の態度を厳しく誡め、官憲の圧迫に屈しない力強い神一条の精神を樹立するため、教祖は強く「つとめ人衆」となられる方々を教育なさるのでありました。その精神づくりに教祖は18回にもわたり監獄、留置所へのご苦労をなされるのでありました。

明治20年１月26日、教祖は「神が恐いか、律が恐いか」と高弟のつとめ人衆の方々に迫り、命がけのかぐら、かんろだいづとめの執行を促されるのでありました。とうとう初代真柱様をはじめ、つとめ人衆の高弟の先生方は、我が身どうなってもの覚悟で、教祖のお望みになられる「おつとめ」に取りかかられたのでした。奇跡は起こり、案じた警官はひとりも見えなかったのです。しかし、教祖はそのつとめ人衆の方々の精神を見届けられ、25年先の定命をお縮めになられ、現身をお隠しになられたのであります。

このように50年にわたる、一れつ人間をたすけてやりたい一条でお通りくだされた教祖の「親心」にお応えするのが、年祭をつとめさせていただく意義であると論達第三号にお誌しいただいているのであります。私はこの論達の精神をお教えいただき、悟らせていただくきっかけとなった身上の体験について少しお話させていただきたいと存じます。

一昨年の10月26日、真柱様から「論達第三号」をご発布いただきました。翌月の11月３日は、私の上級の月次祭でありました。その朝、20数年来患ってきた脱腸が悪化し、腹痛を起こしたのです。ご本部でお達しのあった論達第三号について、恐らく上級の会長様から部内のよふぼく、信者にその主旨の発表があったのでしょう。私はハワイに居り、その場に居合わせることができないので、神様は直々に身上を通して「論達」の精神から脱れないようにと、わざわざ脱腸の身上でお知らせくだされたものと悟らせていただきました。

「脱腸」という身上は、ちょうど自転車のタイヤがすり減ってきて、内のチューブが外に出てきたようなもので、通常は指で押さえて、出た腸を元に戻し、脱腸帯をはめて通常の生活をすることができるものなのです。ところがこの朝は、いつもと様子が違うし、神様のお知らせと悟らせていただき、仕事に出かけた家内を呼び出し、おさづけを取り次いでもらいましたが効能は見られません。上級の会長様にお諭しを願うべく国際電話をかけました。会長になられたばかりで、「前会長様にお尋ねしますから５分待って」とのことでした。しかし、その５分が待てずに、急いで家内の車でクワキニ病院の救急に向かいました。クワキニまでの30分の道のりがとても長く感じられ、座っても、立っても、横になっても吐き気をもよおすのです。途中で詰まった腸の流動物が逆流して、全て口から外に出す運動が起こるからなのです。

実は後日、家内からこのように言われました。「ダディ、お産てそんなものじゃないよ」。一本やられました。私は男性で、お産の経験はありませんが、脱腸の苦しみを通して、お産の苦しみを少しでも味わわせていただいたような気がします。

クワキニ病院の救急に入ると、３～４人が椅子に座って順番を待っていました。余りにも私の苦しむ姿を見て、「大丈夫か」と居合わせた病人さんが背中をさすってくださるほどでした。皆さんのご厚意で先に部屋に入れていただき、麻酔を打たれ、眠ってる間に医者が脱腸を元に戻してくださいました。即手術のはずが、手術部屋がなく、２日後一旦家に戻され、あらためて手術日を11月26日と言い渡されました。26日は私どもお道の者にとっては、大切な日柄、何事も起こらねばと案じておりましたが、案の定26日の早朝から熱が出て、咳が始まったのです。早速医者に電話し、事情をお話しすると「では、手術を延ばしましょう」と言ってくださいました。ホッとしたのか、次第に熱も咳も止まり、回復して参りました。

そこで思案させていただきました。「26日の手術は、身体の手術ではなく、おまえの心を手術せよ」と神様は仰っておられるのではと悟らせていただきました。「来春、１月26日。年祭活動が始まったら、成っても成らいでも三万軒をにをいがけにまわらせていただこう」と心定めしておりました。しかし、神様は「今、今日から取りかかれ」と仰ったように悟らせていただき、早速伝道庁へ参拝し、改めてご報告を申し上げ、地元のマカキロ方面へ戸別訪問に出させていただいたのであります。

先だって、前真柱様がお出直しになられました。私にとって前真柱様は、御恩のあるお方であります。今こうしてハワイの地で、布教伝道の御用をさせていただきますのも一つには、前真柱様のおかげなのであります。

43年前の1971年、私は青年会本部より派遣三布教師の１人として、このハワイの地に送られて参りました。当時、その布教師を全国から募集し、青年会で20人の中から５人に絞り込んだのです。最後の３人の選択は、当時の青年会長様であられました前真柱様に委ねられたのでありました。前真柱様は、その５人の中から、英語も堪能な２人を外され、英語も上手でない私ども３名を選ばれたのです。それは、その２人が教会の後継者であったからなのです。

前真柱様は、かねがね「海外布教は永住布教」と仰っておられました。教会の後継者ともなればいづれ日本に戻らねばならない。その先を見通され、教会の後継者でない私ども３人に絞られたのでありましょう。

おかげさまで、私は十分な働きはお見せ出来ませんでしたが、アメリカ市民権も獲得し、永住の場、お墓も建立し、家も購入させていただき、家族にも恵まれ、お約束通りに永住での布教という前真柱様の思いに添わせていただけますことを、ありがたく思わせていただきます。前真柱様のお出直しは、教祖130年祭に向かう私の成人へのお仕込みと受け取らせていただき、残り500数十日、益々勇んでにをいがけ・おたすけに励ませていただき、ご存命の教祖の親心にお応えさせていただきたいと存じます。最後におふでさきを拝読させていただきたいと存じます。

このみちハどふゆう事にをもうかな
このよをさめるしんぢつのみち　　六-4

第44回天理教バザー

8月24日、天理文化センターで「天理教バザー」が開催されました。今年で44回を数える天理教バザーでは、30品以上の食品に加え、小物や古着、手作りの布団や枕なども並び、ハワイでは最大級のバザーとして知られています。会場に設置された巨大なテント内では、バンドやウクレレ演奏、餅つきも披露され、来場者はテント内のテーブルで食事をしながらパフォーマンスを鑑賞することができました。会場は終日多くの来場者でにぎわいました。皆様のお力添えを頂き誠にありがとうございました。

TENRIKYO

TENRIKYO BAZ

does not cook well with others

新会長就任＆告別式

６月26日のおはこびで、明本ダニエル氏がパラダイス教会の会長の理のお許しを戴かれ、８月30日（土）に就任奉告祭が執り行われました。 同日、今年１月に出直された明本ジョージ・パラダイス教会前会長の告別式も、ダイヤモンドヘッド・メモリアルパークで執り行われました。

訃　報

2014年８月21日（木）、中島ジェイ・ハレナニ（周東）布教所長が64歳でお出直しになられました。告別式は、９月15日（月）午前10時より天理教太平洋教会で執り行われます。中島所長のご功績に深く感謝申し上げ、心より哀悼の意を表します。

結婚おめでとう

８月16日（土）金川タッドさん（双名島/ミッドパシフィック布教所）と西田ヒカリさんがハワイ伝道庁で挙式されました。おめでとうございます。

人事連絡

８月20日（水）西垣明成さん（南海）が伝道庁青年として、2年間の予定で着任しました。

秋季霊祭のお知らせ

9月27日（土）午前10時より、伝道庁にて秋季霊祭が執り行われます。霊祭に引き続き以下の方々の年祭も執り行われます。

１年祭	泉千代子	牛込	マノア教会四代会長
20年祭	吉岡せつ	周東	ベニヤード教会二代会長夫人
50年祭	三國又五郎	周東	太平洋教会初代会長
50年祭	渡辺梅芳	日光	よふぼく

婦人会だより

一手一つの心を培い、地域への大きなにをいがけとなったバザー。長い間のひのきしんありがとうございました。９月20日は、委員部長講習会が開催されます。前日19日には、講師の山田先生によるお話もございます。お一人でも多くご参加ください。

■婦人会例会
９月の例会はありません。

■ヌアヌハレ慰問
９月13日（土）　９：30

■女鳴物練習
９月の練習はありません。

■山田ジョアン・甲賀支部長のお話
９月19日（金）　９：00

■委員部長講習会
９月20日（土）　９：00

※９月の月次祭直会当番は、合同Ｃグループです。よろしくお願いします。

少年会だより

■天理教バザー「ゲーム・おもちゃブース」
少年会担当のゲーム・玩具ブースでお手伝い頂いた皆様ありがとうございました。

■ハロウィーンユニセフ募金
10月のハロウィーンでユニセフ募金活動を行います。世界で苦しんでいる子供たちを救うために募金を募ります。オレンジの募金箱が各教会、布教所を通じて配布されます。または、伝道庁でも入手できます。ご協力お願いします。

女子青年だより

■ウガンダ・プロジェクト（ミニバザー）
このプロジェクトも残すところあと４ヶ月となりました。毎月、焼き菓子のドネーションをくださる皆様ありがとうございます。他にも様々なドネーションをくださる皆様にも感謝します。 引き続き、ミニバザーでの焼き菓子を募集しています。よろしくお願いします。

■文房具ドネーション
ハワイにいる恵まれない学生のために文房具を集めています。バック、ペン、鉛筆やノートなど何でも結構ですので、ミニバザーに持ってきていただくか、井上ミシェルまでご連絡ください。

青年会だより

■委員長メッセージ

ハワイ青年会員の皆様アロハ！先日開催された天理教バザーでは、皆様から多大な力添えを頂き本当にありがとうございました。皆様の努力の結集なくして、バザーの成功はありえませんでした。

また８月25日おぢばでは、天理教青年会五代会長推戴臨時総会が行われました。青年会総会は、10月27日に開催される予定ですが、今回は大亮様が青年会長として就任されて初めての総会となります。今年10月におぢばがえりできる方は、青年会の転換期というこの旬に、是非私と一緒に総会に参加しましょう。

ハワイ青年会は、引き続き、人だすけ、ひのきしんに目を向けていきたいと考えていますので、木の伐採やペンキ塗り、清掃など何でもお手伝いさせていただけることがあれば、ためらわずに青年会のメンバーにお伝えください。すでにリクエストを受けていますが、必要があれば喜んでお手伝いさせていただきます。次のひのきしんは、メールまたは電話で連絡させていただきます。

Hinokishin with a smile!

■月例会議

９月17日（水）　　19：30

於：レインボーハレ

９月行事予定

1日（月）・全教一斉にをいがけデー
2日（火）・コミュニティーひのきしん
・婦人会委員会
6日（土）・Adopt A Hwy清掃ひのきしん
8日（月）・天理文化センター月次祭
13日（土）・婦人会ヌアヌハレ慰問
14日（日）・泉正治 青年離任
15日（月）・文化センター＆文庫合同委員会
17日（水）・山田ジョアン講師来布
・主事会準備会
・青年会会議
18日（木）・少年会会議
20日（土）・婦人会委員部長講習会
・主事会
21日（日）・伝道庁月次祭
・サンデースクール
・教会長布教所長会議
・アロハバンド練習
・山田ジョアン講師離布
24日（水）・松谷八千代 女子青年着任
26日（金）・遥拝式
・天理教バザー振り返り
27日（土）・秋季霊祭
29日（月）・山田裕子 女子青年離任

伝道庁 ９月月次祭　　９月21(日)午前９時

講話者：明本千代・パラダイス教会前会長夫人

※教会長・布教所長会議は12時45分から行います。

TENRIKYO HAWAII DENDOCHO
2920 Pali Highway Honolulu, HI 96817
Phone : (808)595-6523 Fax : (808)595-7748
E-mail : dendocho@tenrikyo-hawaii.com

感謝、慎み、たすけあい

陽気ぐらしのキーワード